

# 事業シート1

課コード: 001071000  
担当組織: 保健環境研究所

作成日: 平成24年4月1日  
責任者: 小杉 国宏

計画コード	基本政策				事業	予算コード				款 項 目 事項									
	10	04	0193	01		16	01	20	10										
					019301														

## 事業名: 保健環境研究所運営維持管理事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	73,626	81,295	7,669		3.0	3.0	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	17,699	18,701	800		257		43,838

### 事業の目的

感染症検査や環境測定の技術的中核施設である浜松市保健環境研究所の適切な運営維持管理事業を行うことにより、その役割を果たすとともに、健康で安心できる市民生活を確保していく。また、経費の節減を図り、効率的な施設運営を行っていく。

### 事業内容(平成24年度に何をやるか)

#### 保健環境研究所運営維持管理事業

##### 庁舎、機器等の維持管理

・清掃、設備機器等の保守管理及び樹木管理などの業務委託を行う。

##### 廃棄物等の処理業務

・産業廃棄物、廃医薬品等の処理について、専門業者に業務委託を行う。

##### 資源の有効利用

・太陽光発電設備や雨水貯留設備など省資源に配慮した設備管理を行う。

##### 機器の整備・点検

・分析機器の整備・点検を行う。

### これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

#### 保健環境研究所運営維持管理事業

##### 庁舎、機器等の維持管理

・清掃、設備機器等の保守管理及び樹木管理などの業務委託を行った。

・保健環境研究所は、平成11年2月に竣工され、13年の経過と共に設備の老朽化が一部に見られるが、修繕等により、維持管理に努めた。

##### 廃棄物等の処理業務

・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に則り、産業廃棄物、廃医薬品等の処理について専門業者に業務委託を行い、適正処理に努めた。

##### 資源の有効利用

・太陽光発電設備や雨水貯留設備など省資源に配慮した設備が設置されており、管理を行った。

##### 機器の整備・点検

・分析機器の整備・点検を行った。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 11 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計								
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	72,549	73,626	81,295	81,295	81,295	317,511
	決算	70,432	71,269				71,269
財源内訳	国・県支出金	0	0	500	500	500	1,500
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	9	9	9	9	9	36
	一般財源	70,423	71,260	80,786	80,786	80,786	313,618
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	96,000
内訳	人工(正規)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	人工(非常勤)						
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		94,432	95,269	105,295	105,295	105,295	411,154

成果指標1 年間電気使用量(H20年度655,296kWhと比較し、毎年1%づつの削減)							
種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	kWh	642,190	635,637	629,084	622,531	615,978
	実績	kWh	652,079	610,771			

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

行政執行上必要な感染症・食品等の衛生検査、大気・水質等の環境測定を正確かつ迅速に実施し、遅滞なく結果を提供できるよう、経費の節減を図りながら効率的な施設運営を行うとともに庁舎管理及び精密検査機器やその付帯設備を適切に維持管理した。

## 評価(平成23年度事業の評価)

### (1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

感染症や食中毒、食品等の衛生検査、大気や水質等の環境測定を迅速かつ正確に実施し、結果を提供するために必要な施設の維持管理である。

従って、保健環境研究所運営維持管理事業を廃止すると、行政上必要な検査ができなくなる。

### (2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

保健環境研究所は、市民の健康と安心を守るための計画的な試験検査や緊急時に素早く検査測定できることが求められている。従って、これらの業務を施設の立場で維持管理していく当業務は、当然市が実施していくべきである。

### (3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

施設の維持や機器整備上の問題が生じており、現状を維持しなければ施設の運営維持だけでなく、検査等の継続が困難となる。

### (4) 改善: その他改善

(理由)

築後13年が経過し、付帯設備等の改修費用が増大している。

点検委託業者の意見を参考に優先順位を付け、計画的に施設・設備の改修を行う。

## 今後の方向性 改善

行政執行上必要な検査・測定に即応できるよう、日ごろの庁舎管理体制に万全を期すとともに、効率的な運営・維持管理を図っていきたい。

## 改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

### (1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

・消防設備保守点検業務及び電気工作物保守点検業務について、東区内の他の施設と一括発注を行うことにより経費を縮減できた。

・「浜松市保健環境研究所だより」の発刊について

目的: 市民への環境・保健情報発信の充実

方法: ホームページによる市民向けの発信及び浜松市職員に対しても庁内情報システムによるお知らせ

実績: 平成22年1月 創刊号「新型インフルエンザ特集」

平成22年6月 第2号「光化学オキシダント特集」

平成23年1月 第3号「食品中の残留農薬について」

平成23年8月 第4号「佐鳴湖と植物プランクトン」

平成24年3月 第5号「腸管出血性大腸菌食中毒について」

計画: 年2回以上の頻度で、発刊を継続する。

### (2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

・「浜松市保健環境研究所だより」の発刊について

年2回以上定期刊行を継続し、市民への環境・保健の情報発信を充実させる。

健康危機や環境事例のうち、特に周知が必要と思われる事例について、号外も検討する。